

使っていこう うちなーぐち

例

【自己紹介・あいさつ】

- わんねー キリ子んでい いちよーいびーん。
- 西原(にしばる)から ちゃーびたん。
- キリ学うてい 英語勉強(びんちよー) そーいびーん。
- わーしゅみや 音楽(うた)ちちゅし やいびーん。
- ゆたさるぐとう うにげーさびら。



【よく使うあいさつ】

- にふえーでーびる(ありがとうございます) ●わっさいびーん(ごめんなさい)
- いいー っわーちち やんやー(良い天気だね) ●っんじ くーいー(行ってくるね)
- きーちきてい いきよー／けーりよー(気を付けて行っておいで・帰ってね)
- みーどうーさたんやー(久しぶりだね) ●また、あちゃーやー(また明日ね)
- りっか、まじゅん けーら(さあ、一緒に帰ろう) ●なま けーていちゃんどー(ただいま)
- なー ゆくらやー(おやすみ) ●ゆくいみそーれー(休んでください)

【キャンパスうちなーぐち】

〔先生編〕

- 「しんしー、トイレんかいっんじ(ん)しまびーみ?」 「しむんどー」
〔「先生、トイレに行っていていいですか」 〔「いいよ」〕〕
- 「しんしー、くぬ しゅくだいや、いちっんじやさびーが?」 「あちゃーまでい やんどー」
〔「先生、この宿題は、いつ提出ですか」 〔「明日までだよ」〕〕
- 「しんしー、にっかなてい わっさいびーん」 「いー、ちげー きー ちきりよー」
〔「先生、遅くなってすみませんでした」 〔「はい、次は気を付けてね」〕〕

〔友だち編〕

- 「えー、じーちゃーさー むっちょーみ? からちとうらしえー」 「むっちょーんどー。うり」
〔「ねえ、消しゴム持ってる? 貸してほしい」 〔「持ってるよ。ほら」〕〕
- 「しゅくだいうわていー?」 「いー、なー うわとーんどー」
〔「宿題終わった?」 〔「うん、もう終わっているよ」〕〕
- 「くり、むちかさぬ。ならーちとうらさんなー?」 「くれー、わんにん わからん…」
〔「これ、難しい。教えてくれない?」 〔「これは、私も分からない…」〕〕
- 「やーさっさー。ちゅーや まーうてい かむが?」 「学食や ちゃーやが?」
〔「おなかすいたー。今日どこで食べる?」 〔「学食はどう?」〕〕
- 「ちゅーや、バイト ねーらんくとうまじゅん あしば」 「しむんどー! ぬー しーぶさが?」
〔「今日はバイトはないから一緒に遊ぼう」 〔「いいよ! 何したい?」〕〕

最強の うちなーんちゅになる!



— 琉球諸語ってなんだろう —

【本副教材の目的】

沖縄キリスト教学院大学では、建学の精神である「キリスト教・平和・沖縄」(3つのキーワード)に基づき、「沖縄」を多面的に捉え、平和や共生について考え、地域理解・国際的視野を育成することに取り組んでいます。本副教材は、沖縄キリスト教学院大学(人文学部 英語コミュニケーション学科)の沖縄・グローバル研究領域科目群において学びの基盤となる知識や用語の理解を整理し、授業での共通の参照枠を示すことを目的としています。

沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 新垣友子

※ 宇流麻学術研究助成基金からの助成金によって遂行されました。

※ Gijs van der Lubbe(ハイス・ファン=デル=ルベ)氏と崎原正志氏には言語学的観点から多くの助言をいただき、地図や活用表などの資料提供にもご協力いただきました。いっぺー にふえーでーびる。

用語の定義

琉球諸島で話されている言語は、
2009年、ユネスコ(UNESCO:国際連合教育科学文化機関)の、
“Atlas of the World’s Languages in Danger”(世界危機言語地図)に危機言語として掲載された。
本副教材では、危機言語の維持・継承の観点から、「方言」ではなく、
「琉球諸語」という用語を用いる。

【琉球諸語】

奄美語／国頭語／沖縄語／宮古語／八重山語／与那国語の
6つの言語を基本とする。
[言語学で用いられる学術的な用語]
日本語の「方言」ではなく、独立した言語群とされる

【うちなーぐち】

[狭義:琉球諸語の中の沖縄語を指す]
[広義:沖縄島(ならびに周辺島嶼)で話されていることば全体]
宮古・八重山・与那国の言語は通常含まれない

【しまくとぅば】

[各地域(「しま」)で話されていることば]
[地域ごとの言語を指す日常的な言い方]
文脈によっては、琉球諸語全体を指す場合もあるが、各地域に呼称がある

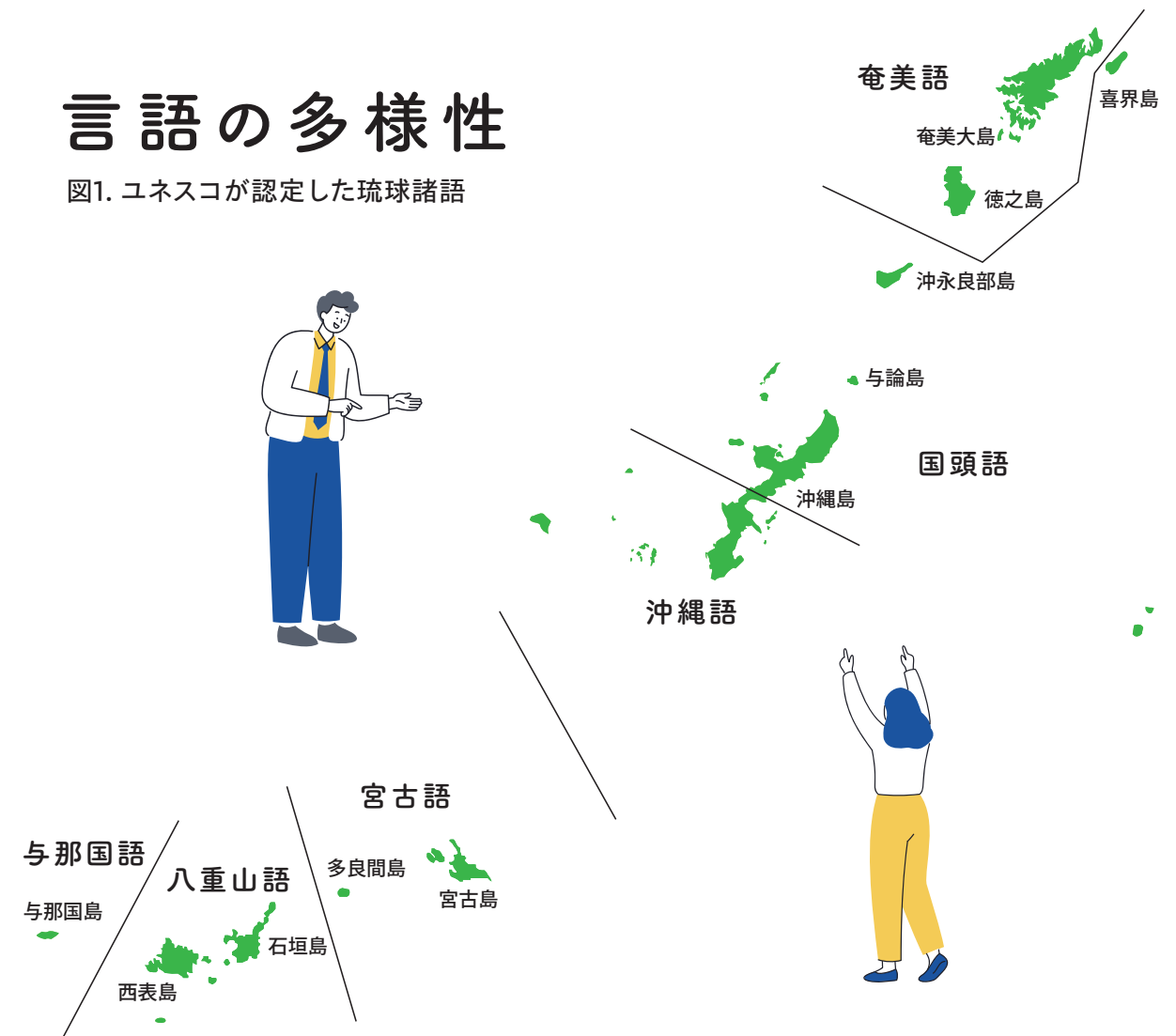
【各地の「しま」のことば】

奄 美：「しまゆむた」「しまぐち」(奄美大島)、「しまゆみた」(喜界島)、
「しまゆみいた」(徳之島)、「しまむに」(沖永良部島)、「ゆんぬふとぅば」(与論)
国 頭：「やんばるくとうーば」「しまーくとうーば」(今帰仁与那嶺)
宮 古：「みゃーくふつ」「すまふつ」(平良)
八重山：「やいまむに」、「すまむに」、「めーらむに」(宮良)、「てーどうんむに」(竹富)
与那国：「どうなんてい」「どうなんむぬい」「どうなんむに」「どうなんくとうば」「ちまむに」

地域によって
かなり違うね！

言語の多様性

図1. ユネスコが認定した琉球諸語



琉球諸島(1200km)の大きさは、日本本州(1300km)と大差不い広がりを持ち、
アクセント、発音、語彙、文法の各面において豊かな地域差が認められる。

表 1. 琉球諸語の多様性

日本語	私は	畑に	行くけど	あなたは	どこに	いくのか？
奄美大島(浦)	わんや	はてうつつち	いきゅんぱん	いやや	だっち	いきゅんよ？
沖永良部(正名)	わなー	ほろがち	いきしが	うらわ	うだがち	いきんよ？
沖縄(今帰仁・謝名)	わんや	ばるちー	いちゅーしが	いやーや	だーち	いちゅが？
沖縄(那覇)	わんねー	はるんかい	いちゅしが	いやーや	まーんかい	いちゅが？
宮古(伊良部・長浜)	ばー	ばいんかい	いふくとう やつるが	つづあー	んざんかいが	いふくとうが？
八重山(石垣・宮良)	ばー	ばりうげ	はるそんが	わーや	じうまげどう	はりやー？
与那国(祖納)	あぬや	はたきんき	ひるか [※]	んだや	んまんき	ひるんか？

※「[○]」は無声化音

ユネスコは琉球諸語を独立した言語として認め、「消滅の危機にある言語」として世界地図に掲載

なぜ、学ぶの？

“なぜ学ぶ？”より、“なぜ失った？”を考えた時、それが自分のアイデンティティとなる。

言語の活力と危機度

琉球諸語は、私たちの祖先が長い時間をかけて育み、生活の中で受け継いできた大切な文化遺産です。そこには、人々の暮らし、祈り、自然観、人間関係、地域の歴史や文化が深く刻まれています。その私たちの言葉に何が起きているのか考えてみましょう。

ユネスコの指標

ユネスコは琉球諸語を独立した言語として認め、「消滅の危機にある言語」として世界地図に掲載しました。早急な対策が必要な状態です。ユネスコは表2のような6段階の指標を用いて、その言語がどの段階にあるかを示します。皆さんの地域の言葉は、どの等級に該当しそうですか。

表2.「世代間の言語継承」の危機度と等級

危機度	等級	その言語の話者人口
安泰	5	子供を含めたすべての世代が使用
不安泰	4	一部の子供が全ての領域で使用 全ての子供が限られた領域で使用
限定(確定)的に危機的	3	主に親世代かそれ以上の世代が使用
かなり(深刻に)危機的	2	主に祖父母世代かそれ以上が使用
非常(致命的)に危機的	1	曾祖父母世代のごく少数の話者が使用
消滅	0	話者が存在しない

地域住民の言語意識

表2でみた「世代間の言語継承」は等級2という地域が多いかもしれませんが。でも、その他にもいくつか指標があって、「地域住民の言語意識」というのは、等級4と言われています。沖縄県の調査*によると、77.1%が琉球諸語に親しみがあると答え、78.2%の親が子供たちに話せるようになってほしいと望んでいます。気持ちがあれば、まだ間に合う！これから自らの言葉を学び、使っておじいちゃん、おばあちゃんをおどろかせませんか。
(★『沖縄県しまくとぅば県民意識調査報告書』2024年)

●気軽に使える『沖縄語辞典』
<https://mmsrv.ninjal.ac.jp/okinawago/>



●ネイティブスピーカーの会話を聞いてみよう。
沖縄語自然会話コーパス
<https://okinawan-corpus.web.app/>



言語権

言語権(linguistic rights)とは、人々が自らの言語を学び、使い、次世代へ継承する権利のことであり、文化やアイデンティティとも深く関わる**人権**の一つと考えられています。これは、自分のルーツを大切にする「文化的アイデンティティ」や、自分たちの言葉で「教育を受ける権利」と深く関わっています。

「方言」ではなく「言語」である

琉球の言葉は、日本語と共通の祖先を持ちますが、英語とフランス語のように異なる進化を遂げた「別の言語」と捉えられます。語彙、語形成、句・文構造レベルにおいて、質的にも量的にも独自性が高く、日本の地域語に押し込むことはできないことが指摘されています(宮良2008)。

学ぶことは「人権」

国連(人種差別撤廃委員会や自由権規約委員会)は、政府に対し、「学校教育の中で琉球の子供たちが自分たちの言語や歴史を学ぶ機会」を保障するよう何度も勧告を出しています。

「おじい、おばあと、各地域の言葉で話すこと」自体が、この権利を行使する第一歩です。

学んだ先にある世界

なぜ、学ぶのか、とよく聞かれますが、逆に、先祖の言葉を学び使うのに理由が要りますか？なぜ「学ばないといけない」事態になったのが問題ではないでしょうか。でも、学ぶメリット、実はたくさんあるんです。いくつか挙げてみます。

1. 初めておじい、おばあに、琉球諸語で話しかけた時、とても驚かれて喜ばれる。
2. おじい、おばあの正しい名称がわかる。(例) 那覇「たんめー(祖父)」「はんしー(祖母)」
3. 県外にでた時や留学した時、自信をもってアイデンティティを語れる。
4. 視野も人間関係も劇的に広がる。⇒人生が豊かになる。世界観が変わる。
⇒世界のうちなーんちゅと繋がれる！

もう、学びたくてウズウズしてきたと思います。次の頁をめくると、うちなーぐちワールドへ突入します。キリ学で教えているのは、沖縄語(うちなーぐち)だけなので、うちなーぐちの資料になりますが、勉強する際の参考にしてください。➡

うちなーぐち文法一覧表 簡易版

規則動詞の原形の四角枠で囲まれている部分が、
それぞれ活用によって下線のように変化する部分で、太字が変化しない部分です。

詳しくはこちら➡
例文もあるよ♪



規則動詞

	原 形	～て	～ない	～たい
1. 笑う	わら ^{いん}	わら ^{てい}	わら ^{ーん} (わららん)	わら ^{いぶ} さん
2. 売る	う ^{いん}	う ^{てい}	う ^{らん}	う ^{いぶ} さん
3. 切る	ち ^{いん} (ちーん)	ち ^{っち}	ち ^{らん}	ち ^{いぶ} さん
4. 着る	ち ^{いん} (ちーん)	ち ^ち	ち ^{らん}	ち ^{いぶ} さん
5. 書く	か ^{ちゅん}	か ^ち	か ^{かん}	か ^{ちぶ} さん
6. 待つ	ま ^{ちゅん}	ま ^{っち}	ま ^{たん}	ま ^{ちぶ} さん
7. 泳ぐ	い ^{ーじゅん}	い ^{ーじ}	い ^{ーがん}	い ^{ーじぶ} さん
8. 寝る	に ^{んじゅん}	に ^{んてい}	に ^{んだん}	に ^{んじぶ} さん
9. 出す	っんじや ^{すん}	っんじや ^ち	っんじや ^{さん}	っんじや ^{しぶ} さん
10. 遊ぶ	あし ^{ぶん}	あし ^{でい}	あし ^{ばん}	あし ^{びぶ} さん
11. 食べる	か ^{むん}	か ^{でい}	か ^{まん}	か ^{みぶ} さん
12. 死ぬ	し ^{ぬん}	し ^じ	し ^{なん}	し ^{にぶ} さん
13. 入れる	い ^{りーん}	い ^{ってい}	い ^{りらん}	い ^{りーぶ} さん
14. 言う	い ^{ーん} (いゅん)	い ^ち	い ^{らん} (いゃん)	い ^{ーぶ} さん

不規則動詞

	原 形	～て	～ない	～たい
1. する	すん	し	さん	しーぶさん
2. 来る	ちゅーん	ち	くーん	ちーぶさん
3. 行く	いちゅん	っんじ	いかん	いちぶさん

状態動詞・連詞

	原 形	～て	～ない	～たい
1. いる	ううん	ううてい	ううらん	うういぶさん
2. ある	あん	あてい	ねー(ら)ん	ー
3. である	やん	やてい	あらん	ー

文法事項まとめ

【動詞】

- 疑問詞疑問文: 作り方: 動詞の原形から「ん」を取り「が」をつける
(例)「かむん(食べる)」の「ん」を取り、「が」を付けて、「かむが」にする。
ぬー かむ^が? (何食べる?) <丁寧>ぬー うさがみせー^が。(何を召し上がりますか?)
- Yes/No疑問文: 作り方: 動詞の原形から「ん」を取り「み」をつける
(例)「かむん(食べる)」の「ん」を取り、「み」を付けて、「かむみ」にする。
すば かむ^み? (そば食べる?) <丁寧>すば うさがみせー^み? (そばを食べますか?)
- 動詞の過去形: 作り方: 動詞の「～て」から「-i」をとり「-an」をつける
(例)「かでい(食べて)」(kadi の語尾 -iを取り、-anをつける) →「かだん」kadan
すば かだん。(そば食べた) <丁寧>すば かまびたん。(そばを食べました)

【形容詞】

原形の語尾:「あん」(例) まーさん(おいしい)
連体形:「～る」(例) まーさるすば(おいしいそば)

	普通形	否定	丁寧	丁寧否定
現在	まーさん	まーこーねー(ら)ん	まーさいびーん	まーこーねーやびらん
過去	まーさたん	まーこーねー(ら)んたん	まーさいびーたん	まーこーねーやびらんたん

【助詞】

日本語	沖縄語	例文	備考
が(主語)	が	わん ^が すさ(私がやるよ)	人・人名
	ぬ	いん ^ぬ ううん(犬がいる)	一般名詞(人以外)
は(主語)	や	まやーや まーやが?(猫はどこ?)	融合形あり
を(目的)	ー	すむち ゆむん(本を読む)	「を」対応の助詞なし
の(所有)	ぬ	うみぬ みじ(海の水)	代名詞以外の名詞
	ー	わー すむち	代名詞にはつかない
に(場所)	んかい	うらしーんかい いちゅん(浦添に行く)	時間は「に」
で	ううてい	キリ学ううてい 集まらな(キリ学で集まろう)	道具は「し」「さーに」